



各 位

2022年5月20日

会 社 名 イオン北海道株式会社
代 表 者 代表取締役社長 青柳 英樹
(コード番号 7512 東証スタンダード市場・札証)
問合せ先 取締役 執行役員 管理本部長
羽牟 秀幸
(電話番号 011-865-4120)

「当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要」について

当社は、取締役会の機能の向上と強化を図りつつ、企業価値を向上させることを目的として、取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その結果の概要を公表いたします。

記

1. 分析・評価のプロセス

取締役・監査役の全員を対象に、例年実施している取締役会の構成、取締役会の運営、取締役・監査役に対する支援体制、トレーニング、株主との対話、執行業務に関する自己評価等についてのアンケート評価に加え、昨年より実施している、第三者評価機関を活用したインタビューを行いました。

評価結果につきましては外部機関により、評価プロセスの有効性及び適正性を検証した上で、2022年4月開催の取締役会において報告し、課題等について討議いたしました。

この討議に基づき、取締役会の実効性に関する取り組みについて、2022年5月20日開催の取締役会にて分析・議論・評価を行いました。

2. 評価結果の概要等

当社の取締役会は、アンケートの大部分の項目において概ね高い評価を得られており、インタビューにおいても、実効性について重大な指摘はありませんでした。

取締役会の構成については、独立社外取締役割合や多様性について、改善の余地があるとの指摘が挙げられました。もっとも、独立社外取締役については、本日開催の株主総会において、取締役総数9名のうち女性2名を含む4名が選任され、独立社外取締役割合および女性取締役割合は大幅に改善されました。

一方、取締役会の運営については、事前の資料提供や議事運営面など概ね適切であるとの評価となりましたが、議案内容をさらにわかりやすく説明することや独立役員会議（諮問委員会）の審議内容のフィードバックについてはさらなる改善も必要との結果となりました。また、コロナ禍により中断してしまっている個人株主との懇親会については、昨年よりバーチャル株主総会を開催しておりますが、コロナ後の対話方法について、課題として挙げられました。

2022年度は、中期経営計画の進捗や事業ポートフォリオの適切性に関わる取り組みなど取締役会のモニタリング機能を高める取り組みを進めるとともに、コロナ後の株主との対話方法を検討し、充実した株主との対話の実現を進めてまいります。

3. 今後の対応

当社取締役会は、この評価結果を踏まえ、取締役会の「透明・公正かつ迅速・果断な意思決定」による「持続的な成長と中長期的な企業価値向上」を図ってまいります。

以上